

2023
春夏号

家庭画報 特選

別冊付録

永治屋清左衛門
230年の
時を纏う

きもの
サロン

新連載

阿川佐和子の
「きものチンプンカンプン」

表紙の人
浅田真央さん

3つの知恵で

誰よりも
着映える！

きもの美人の
法則

草刈民代さん、内田有紀さん

型染め帯の底力

涼を呼ぶ夏きもの
檀れいさん、
南野陽子さん

賀来千香子さん
春の新作バッグを纏う

十三歳の祝いのお稽古始めを



豊中・織元の店主・西宗創始さんと大友智・小友恵子さん。お客さまに似合うこだわりのきものを提案します。

賑ったデザインのお洒落な訪問着や付け下げはもとより、可愛らしい七五三のきものや振袖など、お客様に向けた品揃えも素晴らしいと評判の豊中・織元。店主の西宗創始さんは、きものを着っ

この日は、春十三歳りを迎える浄拝美香さんとお母さまの智代さん、お姉さまの香織さん、家族で、家紋で行おうと、きもの試着に共にお道具調べをして、初めての茶会ははじまりました。智代さんが美香さんを選んだのは、多色で染めた豪華な総絞り文様のきもの希少な白を纏った古色の橘文様のきもので、智代さんは身色染に飾り文様を染めた上品な付け下げを選びました。



関西地方では、子供が十三歳まで育ったことを祝い、晴れ着を着て京都嵐山の法輪寺にお参りするという風習が大切にされてきました。今年の春、十三歳りを迎える美香さんを探って、家族で新会をしようとして、三人でお道具調べを、準備しました。十三歳りからは、おとなと同じ仕立てのきものを着るので、肩掛けや腰上げをしてサイズを合わせ、成長はよって、上げをほどいて二歳まで着るようになります。その案がおとなへの贈役の一つとして、両親には感謝深いものがあります。

お問：ゆめぞ 豊中・織元
大阪府豊中市本町4-1-8 ☎06-6849-5298

豊中・織元が、十三歳りにお出すお年々小紋のきものです。右へ染め抜いたおとな可愛い小紋、子供ながら結飾りや茶会に出席する日に、晴れ着として着こなせます。左へ豊やかな家紋意地の色合いが美しい、花籠の小紋。あどけなさとおとなが表裏の移ろう頃に美しく染えるもの。

母・智代さんの影響で、4歳の頃から、花朝顔の日曜劇やお稽古している二人、香織さんが情しむ色(白)を、美香さんが羽織の紫で、大友・日本橋の国直文楽劇場で初舞台を踏みました。



香織さんの七五三のときに、可愛らしい智代さんが出会ったのが、宮原さんと花々の豊中・織元のきものでした。まだおとない美香さんは、お母のきもの愛らしい姿で、



侘

びた墨色の濃淡が創出する
ハンサムウーマン



白銅色を主に、裾の部分に深い墨色で引き締めた付け下げ。糊の白上げで描いた小付けの桜楓文を、流麗な遠山に散らした構図が絶妙。知的な女性が時折みせる、愛らしさが滲み出るようです。オリエンタルな茶系の帯に、都会的なセンスが光ります。きもの・帯／ともに豊中・織元 帯揚げ／和物さくら 帯締め／道明 扇子／井澤屋 履物／銀座ぜん屋本店
リング104万5000円／ケイテン バッグ83万7100円／ヴァレクストラ(ヴァレクストラ ジャパン)

性が薫り立つ
訪問着

アンスカラーで
着に、北村武資
を合わせたワン
きもの全体に光
線、上前に金駒
えめながら近距
深さを発揮しま
/ともに豊中・織
敬 帯締め/道
づら清老舗/バ
/デルヴォー(デ
パン) リング79
マラート(ポメラ
トサービス)

Scene 3

「ビジネスシーン」では、会話の糸口になる凝った一枚を





北欧の刺繍のような愛らしさを湛えた絵柄の帯。赤い紬など、ほっこりとしたアンティークのきものにも合い、装いをモダンに昇華させます。帯／豊中・織元



涼しげな青磁色の上に、みずみずしい夏椿がリズムカルに配された染め帯で初夏のお出掛けに。日本工芸会正会員・足立昌澄氏の作品です。帯／豊中・織元